

平成 28 年前期学生による授業評価 講評

平成 28 年度前期の学生による授業評価結果の概要と講評を行い、授業改善のための基礎資料とする。

本稿の構成は、下記の通りである。

- 1 評価結果の概要と、特徴的であると考えられるポイントを指摘した。
- 2 評価結果の全体を表にまとめた。
- 3 設問ごとに各選択肢の選択率を円グラフで示した。

○概要

- ・調査対象者は、延べ 2610 名（保育・保育臨床専攻 1416 名、服美・服美専攻 1193 名、無回答 1 名）（1 年生 1607 名、2 年生 1001 名、無回答 2 名）であった。
- ・全体の平均値は 1.39 で、**昨年度とほぼ同じ高いレベルを維持した。**
- ・設問ごとの平均は 1.24～1.58 の範囲内にある（表 1）。いずれの設問でも、最も肯定的な回答が過半数を占めている状況は変わらない。また、ほとんどの設問で、肯定的な選択肢 2 つを合わせた割合が 9 割を超えた（図 1）。以上の結果から、**全体的に評価は高い**と言える。
- ・特に、**設問 7「授業準備」と設問 9「授業時間」、設問 11「対応」**では、最も肯定的な評価だけで全体の 8 割以上を占めた。また、設問 12「授業を他人に薦めるか」では、最も肯定的な回答は 74%であった（図 1）。
- ・一方、比較的評価の低い設問は、設問 3「予習復習」（60%）、設問 1「出席状況」（61%）、設問 10「理解度」（62%）であった（図 1）。
- ・さらに、設問を個別に見ると、設問 2「意欲的」と設問 4「話し方」については、最も肯定的な回答が 7 割を下回っており、ここにも改善の余地があることがわかった（図 1）。

○表 1 設問ごとの平均値

設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12
1.46	1.45	1.58	1.49	1.38	1.33	1.24	1.37	1.26	1.52	1.27	1.37

*評価は 5 段階で行なわれ、1 が最も高く 5 が最も低い。

○表 2 評価結果全体のまとめ

選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	出席	意欲的	予習復習	話し方	教材適正	教育環境	授業準備	創意工夫	授業時間	理解度	対応	薦めるか
1	1593	1687	1561	1730	1892	1971	2127	1919	2080	1619	2093	1939
2	868	710	682	593	491	463	360	473	396	718	363	418
3	132	171	286	199	194	144	109	165	114	205	133	200
4	1	37	55	61	25	22	11	37	14	46	12	29
5	16	4	26	27	8	9	3	16	6	21	7	16
計	2610	2609	2610	2610	2610	2609	2610	2610	2610	2609	2608	2602

○図1 設問ごとの選択肢の選択率



